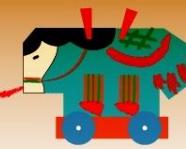


真弓山ハイキングコース総合案内板

~ Welcome to mayumi ようこそ真弓町へ ~



真弓町は、常陸太田市の南東部に位置し、真弓山麓の県道亀作石名坂線を中心にして、両側に約220戸の住宅地が広がる地域です。

町内には歴史的な見どころが多数あるほか、自然環境においては眺望が素晴らしい、本州の南限・北限の植物が混在して生育している学術的にも貴重なところです。

ハイキングコースは、真弓神社の参道がコースとなっており、真弓神社・爺杉・膝掛け石などの名所があるので、歴史と自然が体験できるコースとなっています。



真弓神社
坂上田村麿が大同2年(807)に創建し、源義家が弓を奉納したとの伝説がある神社。陣ヶ峰に鎮座し、常陸五山一つとして山岳信仰の聖地とされています。



爺杉
神社の北側斜面の中腹にある杉の巨木で、茨城県内でも有数の大きさを誇る。県の天然記念物に指定されており、幹周りは10.4m。



見晴らし台
多賀山地南部に位置する見晴らし台からの眺望は、太平洋を望み、大洗、鹿島の工業地帯までが一望できる。春にはヤマザクラ、秋には紅葉が楽しめる。



施設や駅などの記録を作成し、古い山の大理石を使用することにしたが、石の搬出時に大損失となり、里りを恐れ誰も搬出しなかったので、二首の和歌を白扇に書いて祈願し、無事搬出ができたといわれている。

県道亀作石名坂線

陣ヶ峰
(標高約300m)

裏参道
表参道

反射板

現在地

県道
156

真弓町会



願掛けのしめ縄
仲の技を握って願いをかけると、願い事が叶うというしめ縄。また、女の人は漁戸物を割らなくなるともいわれている。



真弓山の白い石
真弓山一帯から産出する白い石(大理石)は、寒玉石とも呼ばれ建築材としても国会議事堂にも使用されている。また、この石には源義家や天狗がまつわる伝説も残る。



膝掛け石
源義家が膝をかけて弓を射たとされる石。ここから放たれた矢は日立市の留町まで飛び飛んでいく矢の様子から、茂宮と留の地名になったとされている。



協力：茨城県立太田第一校学校 写真部

300m